

認知症 みんなの笑顔で 支えよう！

【 認知症ってなに？ 】

認知症はだれもが自然な老化によっておこる単なる「物忘れ」ではなく、さまざまな原因で脳のはたらきが悪くなる病気です。

【 認知症セルフチェック表 】

- 1 今日の日付や曜日がわからないことがある
- 2 住所や電話番号を忘れてしまうことがある
- 3 何度も同じことを言ったり聞いたりする
- 4 買い物でお金を払おうとしても計算できないことがある
- 5 ものの名前が出てこないことがある
- 6 置き忘れ、しまい忘れが多くなった
- 7 慣れた道で迷ってしまうことがある
- 8 ささいなことで怒りっぽくなった
- 9 ガスや火の始末ができなくなった
- 10 今まで使っていた洗濯機やリモコンなどを使いこなせなくなった
- 11 本の内容やテレビドラマの筋がわからないことがある
- 12 財布や時計などを盗まれたと思うことが、よくある
- 13 会話の途中で言いたいことを忘れることがある
- 14 だらしくなった
- 15 体の具合が悪いわけではないのに、何もやる気が起きない

※NHK 厚生文化事業団発行／小阪憲司監修「もの忘れが気になるあなたへ…」から

6項目以上に心当たりがある方

このチェック表だけで認知症かどうか診断することはできませんが、医療機関やお近くの包括支援センターに相談することをおすすめします。



【早期発見・早期治療のすすめ～Aさんの場合～】



Aさんは、最近なぜかいつもイライラしています。
周囲に対し「私の財布取ったでしょう！」と疑ってかかるようになり、
だんだん服装や身なりも気にしなくなってきました。
Aさんの変化に気付いた近隣に住む息子が、本人と一緒に近くの
かかりつけ医に相談に行きました。

詳しい検査の末、Aさんは“アルツハイマー型認知症”と診断され、
認知症の進行をゆるやかにする内服治療が開始されました。

早期治療と周囲の適切な対応によりAさんは落ち着きを取り戻し、
住み慣れた地域で安心して暮らせるようになりました。



【認知症かなと思ったら…】



心配な症状、既往歴、変化の様子と時期、生活習慣などをメモしておく。



まずはかかりつけ医を受診しましょう。
かかりつけ医がない場合や、本人が受診をためらっている場合などは、**地域包括支援センター**にご相談下さい。

◆ 認知症相談医 ◆

<役割>

- 1.日頃受診している患者さん等について、認知症の早期の段階で気づき、発見します。
- 2.必要な場合は、専門医療機関への受診誘導を行います。
- 3.認知症の人への日常的な身体疾患の対応や健康管理を行います。
- 4.認知症の人の家族の介護負担や不安を理解します。
- 5.認知症の人と家族を支援するため、地域の認知症介護サービス等関係機関と連携をとります。

<高島市内の認知症相談医一覧>

医療機関名	認知症相談医名	電話番号
あいりんクリニック	前田 昌彦	22-1711
今津病院	岸本 郁男	22-2238
片岡クリニック	片岡 謙	25-6373
小林クリニック	小林 博徳	25-8107
多胡クリニック	多胡 博雄	34-0345
土田医院	土田 博夫	32-3317
本多医院	本多 朋仁	25-4123
医療法人かおり会 藁園本多医院	戸田 直歩	25-6591
マキノ病院	森田 豊	27-0099
まつもと整形外科	松本 道明	25-8201
やまにしクリニック	山西 博司	36-0015

※引用:滋賀県ホームページ (平成30年3月現在)

※ホームページの掲載について承諾の得られた医師のみ掲載しています。医療機関の対応は、個々により違う場合がありますので、詳細については、直接各医療機関におたずねください。

◆ 地域包括支援センター ◆

<役割>

高齢者ご本人・ご家族の介護、福祉、健康、医療などさまざまな相談の窓口です。

<問い合わせ先>

☆地域包括支援課 (地域包括支援センター) 電話: 25-8150